

平成 28 年度 妙高市生徒指導部 活動報告

部長 今井 一昭 (妙高小学校)

- 1 研修テーマ いじめ、不登校対策の現状と課題について考える
～園・小・中・特別支援学校での取組から～

2 研修の概要

妙高市では、各園や小中学校、特別支援学校がいじめ、不登校対策に全力を挙げて取り組んでいる。市教委や各校の取組がなされる中、本部会では、各校の取組（成果や課題）を共有するとともに、いじめ問題を改めて考える研修会を通して、いじめ、不登校対策の現状と課題について考える。

- (1) 第1回部会 4月20日(水) 新井総合コミュニティセンター
今年度研修主題、ならびに事業計画の協議
- (2) 第2回部会 10月27日(火) はねうまアリーナ

① いじめを体験された方のご講話 講師 宮越 友理 様

信頼していた人からのいじめを受けた宮越様は学校に行くことができなくなり、不登校になってしまう。家族と話ができない、自分自身がセーブできず泣きながら暴れる、そして昼夜逆転の生活……。そんな時、宮越様の話を聞いてくれるカウンセリングの方やありのままを認めて受け入れてくださる方々と出会い、つらい時を少しずつ乗り越えていったご経験を話していただいた。最後に、私たち教職員にいじめ見逃しゼロのために熱いメッセージをいただく。

○保護者は学校に相談しにくい面がある。保護者に「一緒にがんばりましょう」と言ってほしい。

○何がいじめなのか、徹底的に話し合ってほしい。そして、いじめられた子どもを救うとともに、いじめた子がなぜそうしたのか、問題を一緒に考え受け止めてほしい。ご講話後、生徒指導部員から次のような声が寄せられた。

- ・宮越さんの講演は、当事者だからこそその生の声であり、教職に携わる者として考えさせられました。日常のいじめ、問題行動への対応の仕方の是非を振り返るとともに、今後の対応の指針となりました。
- ・当事者意識という点で、聞くことのできない体験の話で有意義でした。
- ・実体験をもとにした貴重な講話をお聞きすることにより、日々のいじめや不登校に関わる対応の仕方を今一度考え直すことができました。

② 中学校区ごとに分かれての情報交換

中学校区ごとに分かれて各園・小・中・特別支援学校のいじめ・不登校対策の現状と課題、成果等について情報交換を行った。

○学校全体として、小さなことを見逃さないようにしている。 ○問題行動の対症療法はもちろん、未然防止に特に力を入れている。 ○いじめ見逃しゼロスクールでは、いじめになり得ることを取り上げ、何がいじめなのかみんなで考えた。

3 成果と課題

県教委は不登校の対応として、「絆づくり」「居場所づくり」「社会性の育成」を核に、魅力あるよりよい学校づくりを推進している。宮越友理様のご講話は、生徒指導部員一人一人の心に深く染み入るとともに、中学校区ごとの情報交換もとても有意義であった。

今年度の取組が各園・小・中・特別支援学校のいじめ、不登校対策に、そして魅力あるよりよい学校づくりに大きく寄与することを確信している。